

家畜保健衛生所情報

令和6年12月12日

牛飼養農家
の皆様へ



イバラキ病様症状を示す牛の発生について

令和6年11月上旬、府内においてイバラキ病と類似の症状を示す牛が確認されました。遺伝子検査の結果、イバラキ病と同類のウイルス（流行性出血病ウイルス血清型6）の関与が疑われました。

発熱、流涎、嚥下障害、結膜の充血などの症状がみられた場合には、臨床獣医師の診察を受け、本病が疑われる場合は家畜保健衛生所へご連絡ください。

本病のウイルスは蚊、サシバエ、ヌカカ等の吸血昆虫によって媒介されます。そのため、流行には季節性（夏～秋）があり、気温が低下し、吸血昆虫がいなくなる冬期には流行が終息します。なお、牛から牛への接触感染はありません。

（参考）イバラキ病について

☆症状

- ・発熱、食欲低下、流涎、結膜の充血、鼻汁漏出、泡沫性流涎、嚥下障害（死流産との関連も疑われる）
- ・発症率は低いが、嚥下障害を発症した牛で脱水や誤嚥性肺炎により死亡する場合あり

☆感染経路

- ・ヌカカなどの吸血昆虫が媒介
- ・牛から牛への接触感染はなし

☆対策

- ・殺虫剤の散布等による吸血昆虫対策
- ・嚥下障害を発症した場合、輸液による水分補給等の対症療法が必要



泡沫性流涎

（家畜疾病図鑑 Web より引用）

 大阪府家畜保健衛生所 〒598-0048 泉佐野市りんくう往来北1-59
 TEL 072-458-1151 FAX 072-458-1152
